



米ドル覇権の砂上の楼閣

放漫財政と精神的荒廃のインサイド・アウトを解剖する

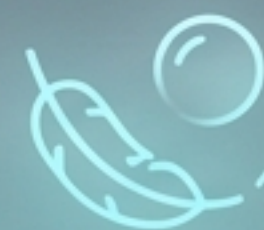
膨張する債務と、際立つ負担の軽さという矛盾

40,000 兆

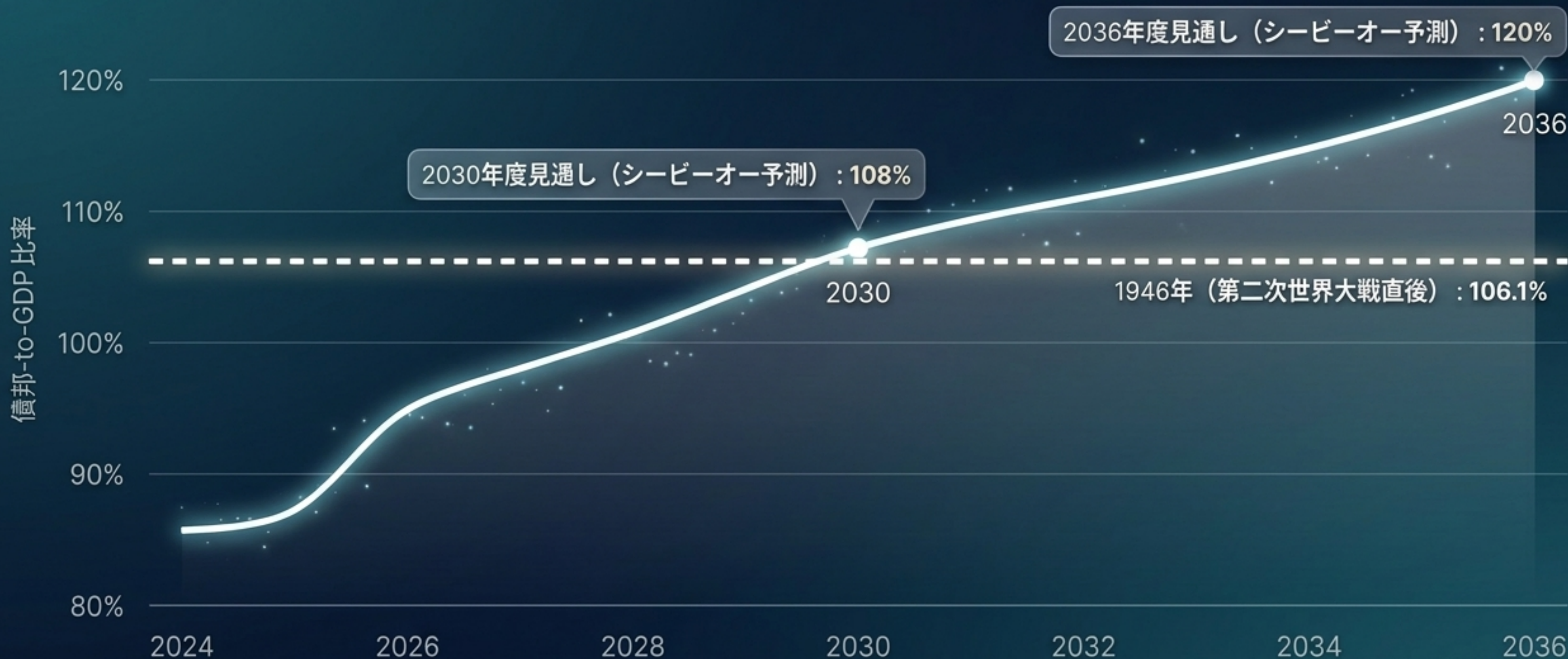
連邦債務：2026年8月に**40兆**ドルを突破。対ジーディーピー比はおよそ101%。



国民負担率：およそ**34.2%**。
驚くほど軽い税と社会保険料の負担。

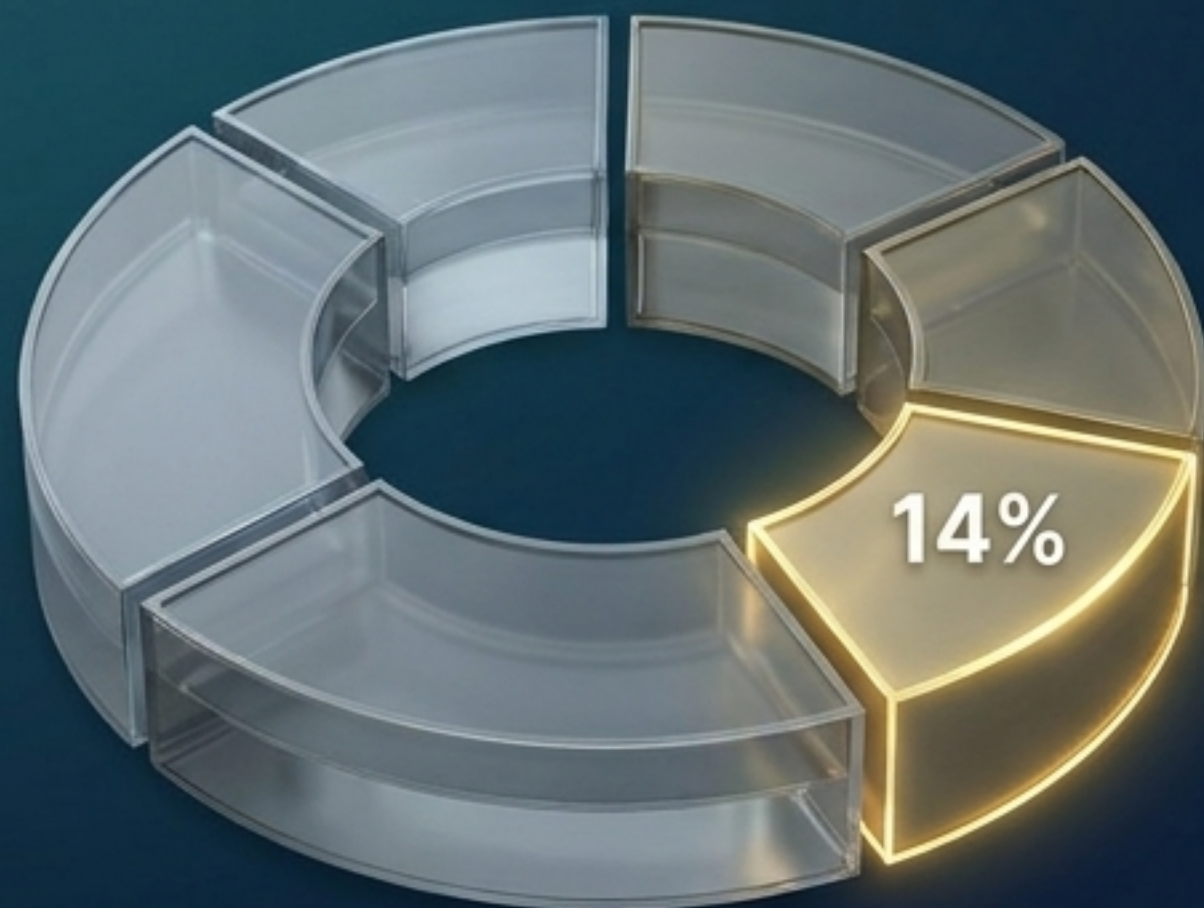


連邦債務は2030年に歴史的な過去最高水準を突破する



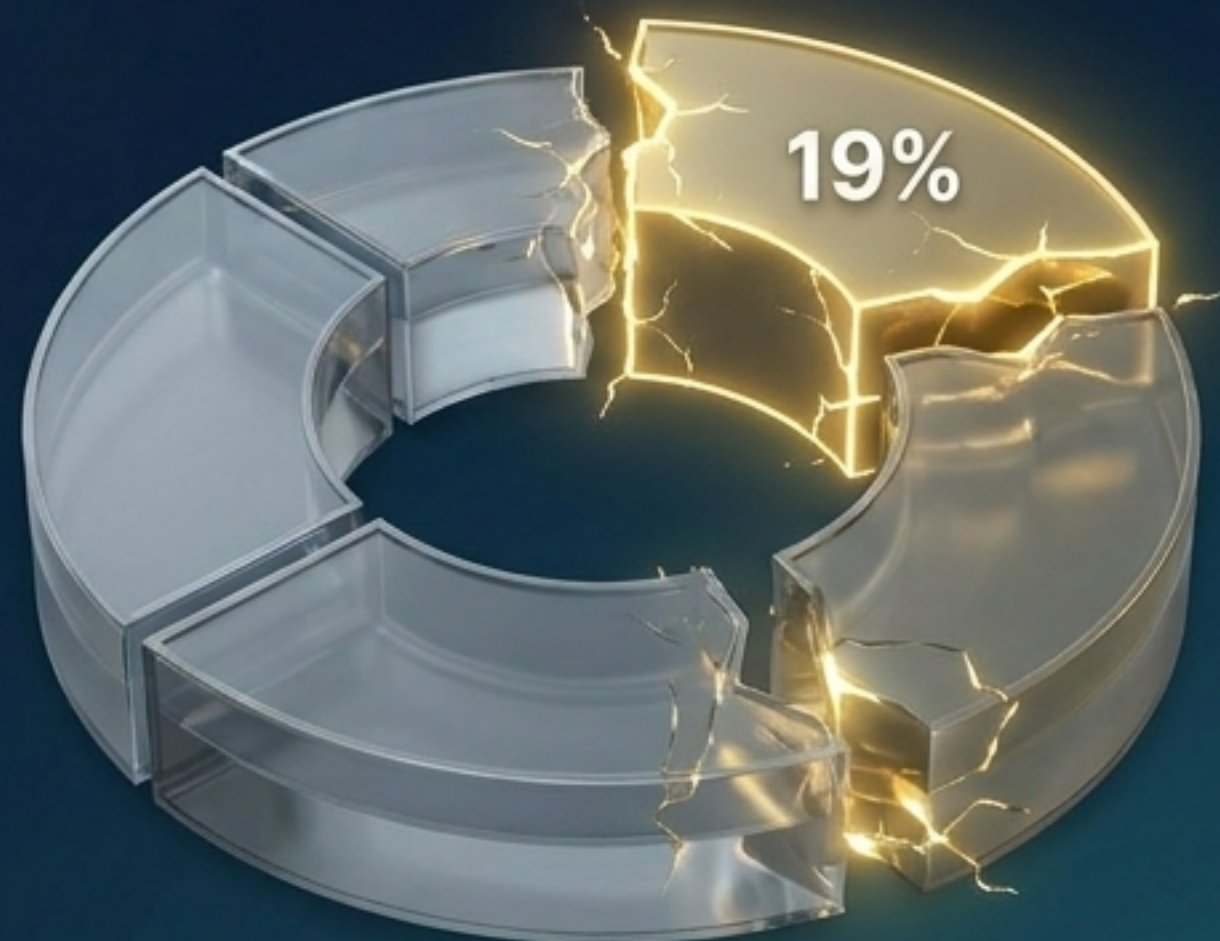
予算を侵食し、国防費を上回る純利払い費の急増

2026年度



2026年度 純利払い費：およそ1兆ドル（連邦支出全体の14%）

2036年度



2036年度 純利払い費：2.1兆ドル（支出全体の19%近くへ膨張）

低所得者向け医療扶助や国防予算を凌駕する規模へ。

主要国と比較して特異な位置にあるアメリカの国民負担率

アメリカ：36.4%（2022年実績） / およそ34.2%（現在）

日本：48.4%（2022年実績） / 45.7%（2026年度見通し）

イギリス：49.7%

ドイツ：55.9%

スウェーデン：55.5%

フランス：68.1%

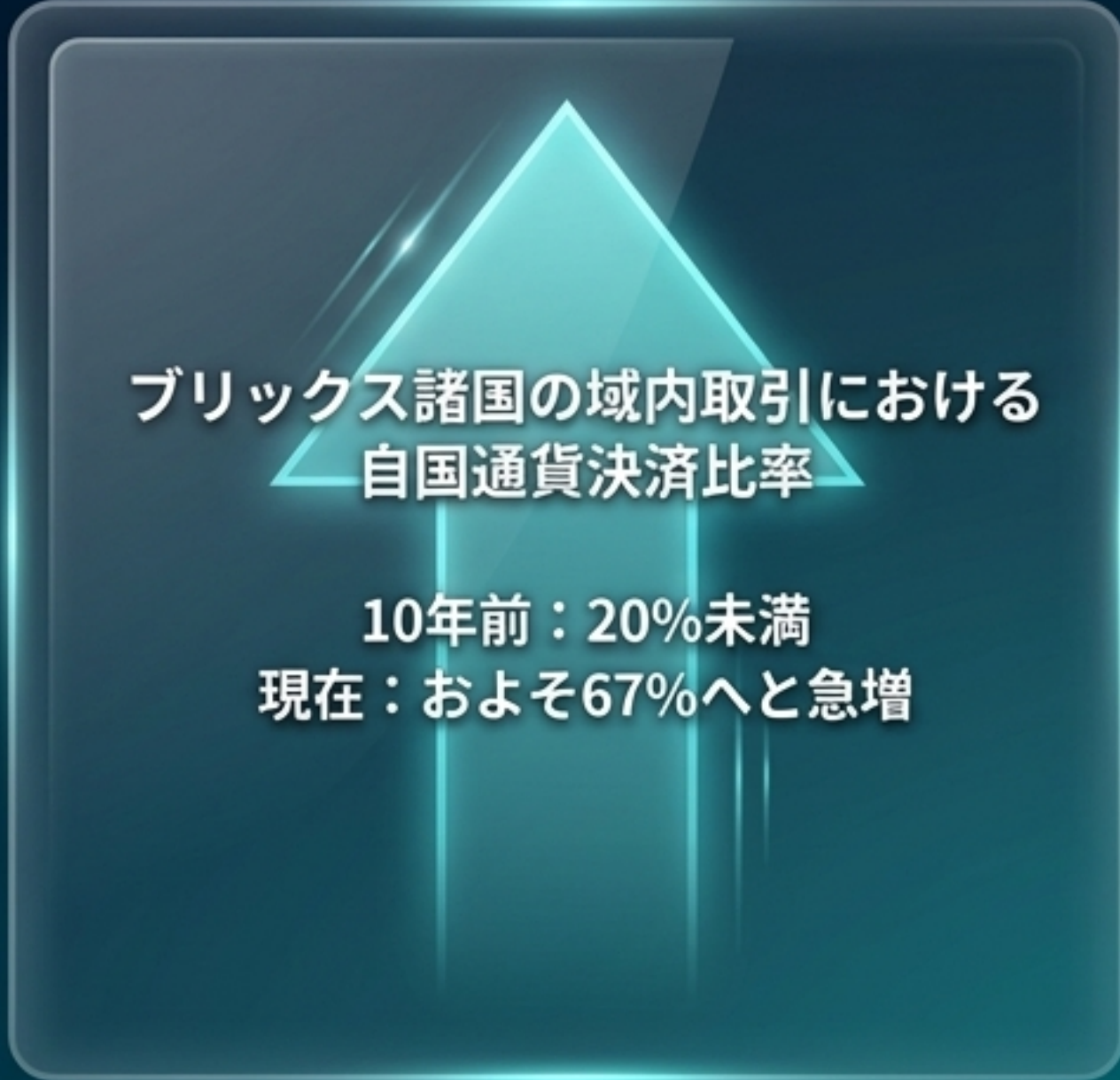
日本と比較してもおよそ11.5から12.0ポイントの開き。この「軽さ」が構造の脆さの起点。

砂上の楼閣を支える外部環境 「ドル需要」の静かな後退



世界の外貨準備におけるドル比率
(アイエムエフ・データ)

2001年ピーク時：およそ72%
現在：57%割れ（1995年以来の低水準）



ブックス諸国の域内取引における
自国通貨決済比率

10年前：20%未満
現在：およそ67%へと急増

決済網のシェアが示す通り、脱ドル化は単一通貨への移行を意味しない

シップス 中国の国際決済システム

決済額：月あたりおよそ2700億ドル規模（2026年3月時点）へ成長。



シップス 中国の国際決済システム
決済額：月あたりおよそ2700億ドル規模
（2026年3月時点）へ成長。

スワフト 国際的な決済網におけるシェア



スワフト 国際的な決済網におけるシェア
ドル：およそ48%
中国の通貨：いまだにおよそ3%にとどまる。

制裁への実務的な対応としての**自国通貨決済**

「ロシアとブリックス諸国との取引のおよそ90%は、
すでに自国通貨建てで行われている」

「脱ドル化を積極的に追い求めた結果ではなく、
制裁への実務的な対応にすぎない」

ペスコフ報道官のスタンス / 2026年9月

一つの覇権から離れることと、別の覇権に乗り換えることを明確に区別。

薬物過剰摂取による死者数が示す、改善と高止まりの二面性

EXTREME DANGER ZONE
極度の危険区域

2025年の死者数はおよそ6万9973人
(前年から14%減少 / 3年連続減)

フェンタニルなどの合成オピオイド
関連も4万4564人へ減少。

総数は減少したものの、年間およそ7万人という絶対的水準は
他の先進国と比較して依然として極めて高い。

銃関連死の内訳が示す、社会保障セーフティネットの限界

2024年の銃関連死は
およそ4万4447人
(3年連続の減少)

自殺：およそ2万7593人と
過去最多を更新。

他殺：2021年のピークから
およそ27%減少。

低い国民負担率は自由の代償であり、セーフティネットの薄さの裏返し

国内の幻想

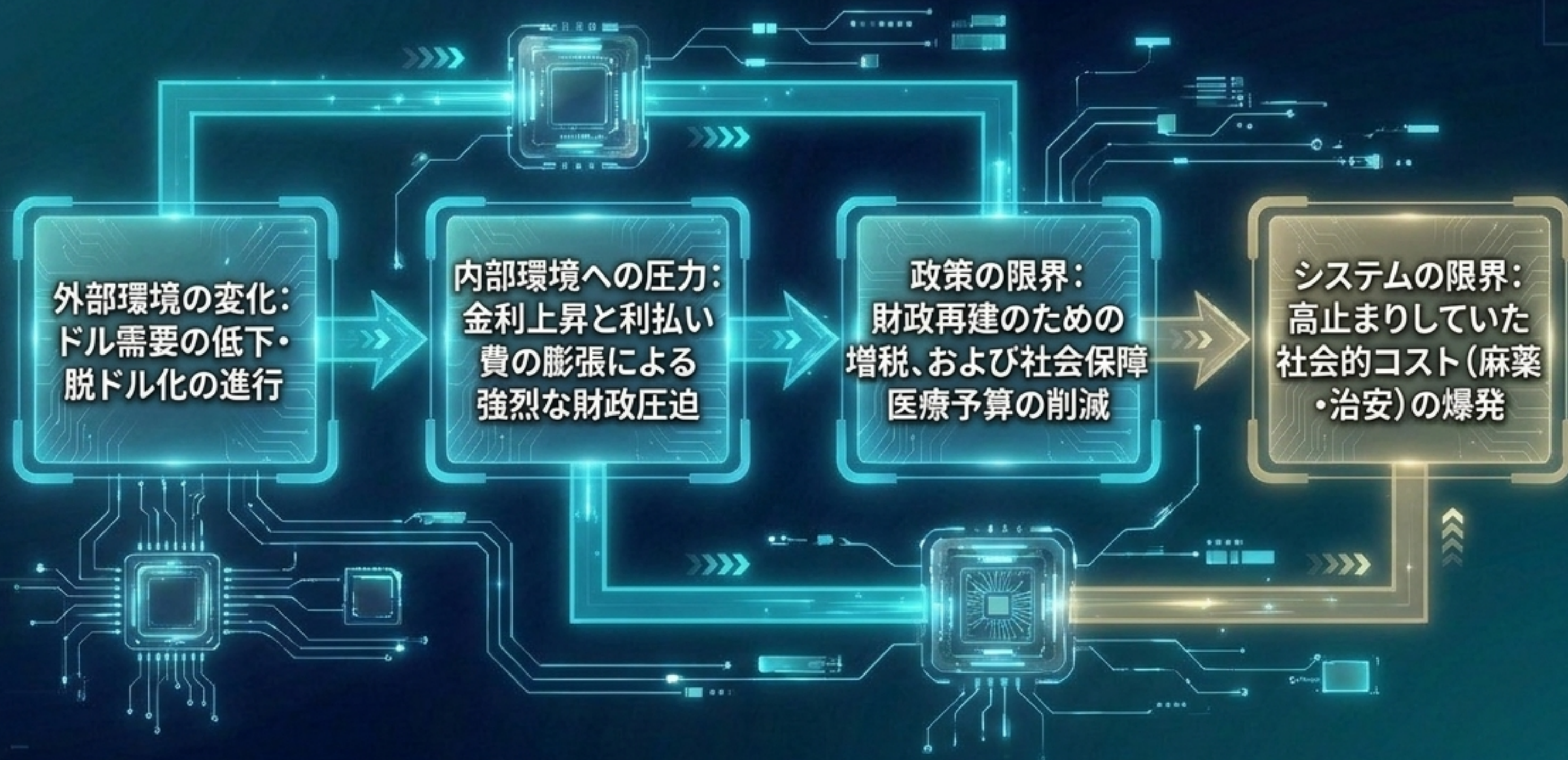
負担の軽さの一部は、
世界からの資金供給
(ドル需要)という
外部要因に依存して
成立している。

国内の現実

外部資金への依存が
断たれれば、社会的なひずみ
を和らげてきた財政的な余裕
そのものが失われる。



均衡が崩れた場合に想定される連鎖的なドミノ効果



ファクトに基づく構造の俯瞰とシナリオの提示

本コンテンツは公開データに基づく独立した構造分析であり、
単一の予測や特定の立場を押し付けるものではありません。

危機を煽るのではなく、断片的な情報をパズルのように組み合わせることで、
視聴者自身が未来のシナリオを多角的に検証するための基盤を提供します。